

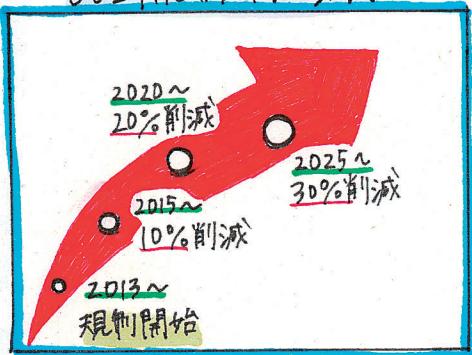
環境問題と海事行政

桜陽新聞

※基準値に満足しない船舶は
海運マーケットに投入不可である

COP21

CO₂排出規制の動向



世界全体から排出されるCO₂排出量の約二二%であり、ドイツ一国分の排出量に相当する。また、内航運運から排出する量は約一千万トンである。しかし、海運は他の輸送手段に比べ、一度に大量の物資を運ぶことがで、単位輸送当たりのCO₂や大気汚染物質の排出が少ない、環境にやさしいと言われている。

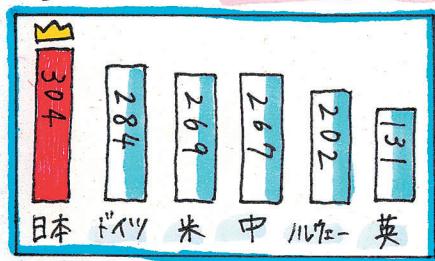
国際海運から排出される温室効果ガスは、そのほとんどがCO₂であり、二〇一四年に承認された国際海運機関(IMO)の調査によると、二〇一二年の排出量が約八億トンである。これは、

船って何?

1年B組8番
大野花鈴

日本が提出した

IMO 提案文書數比較



IM051
上位の国がほとんど
先進国であることや
海に面する国土が
比較的多く、国であ
ることなどが読み取れる。
日本は、海事立国で
あり、島国であるこ
とで一番多く文書
を提出しているの
ではないかと想づく。

日本は造船業、海運業の両方で世界の
トップにと言われる“海事立国”であり、
IMO設立以来理事国を任つてゐる。
日本の技術を基につくられたIMOの
条約もあらほど世界海事の発展に貢
献してゐる。

理事会と海上安全委員会、海洋環境保護委員会など五つの専門的な技術的審議を行つ委員会から構成されてゐる。

船舶の安全及び環境保
護に関する主要な条約

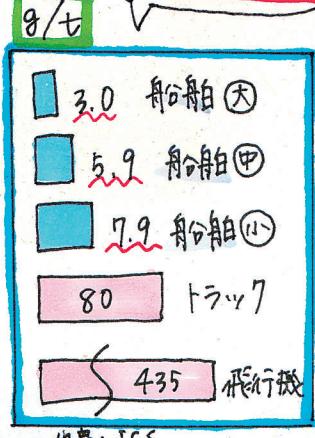
SOLAS：人命及び貨物の安全確保のためには必要な船舶の構造と設備を順定と規定
MARPOL：船舶による海洋汚染の防止等に関する規定

COLREG：海上における衝突防止のための航行ルール等を規定

ワクルル管理条約：有害な水生生物及び

環境省 費用：三億円
全国の湖沼・サンゴ礁など
代表的な海域生態系を
調査サイトにおいてモニタ
リングを推進してくる!!

主な輸送手段の CO₂排出量比較



14
米
の
C
S
R

重要課題

排熱回収システム

日本船主協会（社）の 「環境理念」と「行動方針」

人環境理念

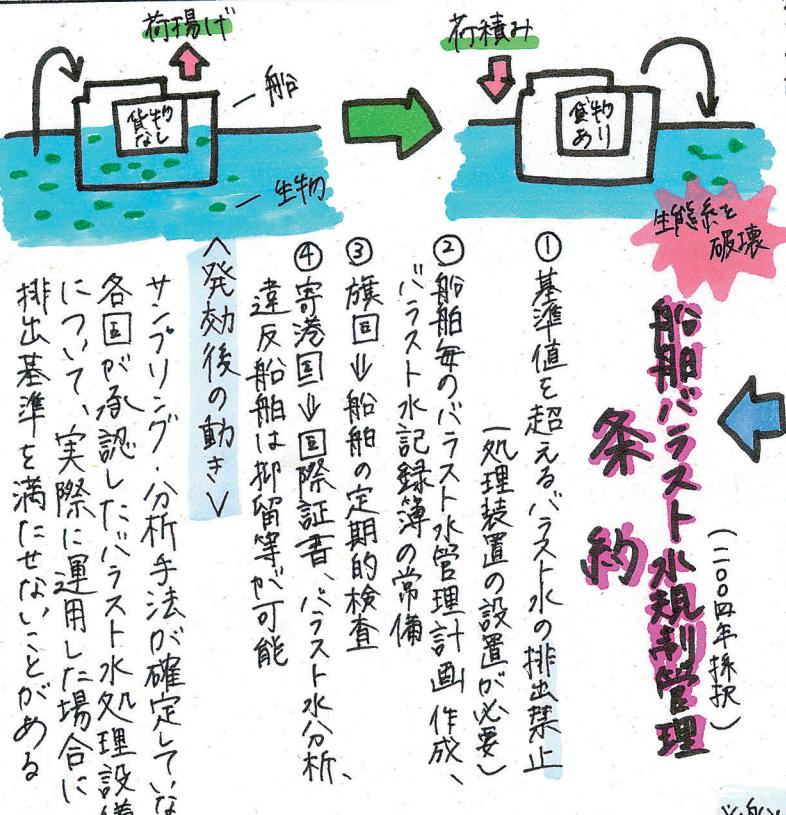
日本船主協会は、地球・海洋環境保全が最重要課題のひとつであるという認識に立ち、海難事故や油漏による海洋汚染を防止するため船舶の安全運航を徹底するとともに、環境負荷の低減および資源の有効活用を推進します。さらに、海運やあらゆる産業活動と市民生活を支える物流インフラストラクチャーであることを踏まえ、環境保全への一層の取り組みを図り、わが国ならびに世界経済の健全な発展に寄与することに努めます。

① 地球・海洋環境に関する国内外の法規の遵守と自主的な環境方針の策定による一層の環境保全

② 船舶の安全運航を確保するための管理システムの構築と徹底、安全運航に寄与する機器の開発支援と導入促進

③ 省エネルギー・輸送効率に優れた船舶および設備の採用、船舶の運航に伴う環境負荷の低減、廃棄物の削減と適切な処理

④ 海洋染害事故の原因となるサブスタンス・ボート船排出の積極的推進と船舶リサイクルの促進



船舶の喫水、トリムを調整するのに不可欠な海水バースト方式は、船どの船舶に採用されていて、年間百億トンもの大量の海水が世界の広範囲な海域間を移動することにより、張水した排水する海域まで、バースト水に含まれた海洋生物や病原体が移動している。これらの海水中に含まれる貝、プランクトンなど、移動先の海域に排出され、新たな生物として繁殖一定着して、貝類を毒化され食中毒を発生させたり施設の取水口をふさがれたりと、う予想外の障害や生態系変化を与えるなど、おもな問題を生じていると、う指摘がなされていて、設備初期に数億円かかりとと言われる。

軸加熱モーター
 ↓
 ハイドリッピング給油機
 ↓
 排ガスエコマイザー
 ↓
 ターボジェネレーター
 ↓
 自電盤
 ↓
 船内電力 機進力

編集後記

この新聞を書くことで、Xデイアや世間が
 いつも強調する海洋汚染について船舶
 との関連を調べ、その現状を知ることに
 できました。海事行政の環境に対する考え方
 を取り組みを細かく分析してまとめると
 ができたから、経験にならんだと思う。
 普段から関わりの薄い船と今後少しでも
 ござれば、今回調べた内容を引き出
 して活かしていきたい。

図・高級車用エコマイザー
 パワーシステム概念図

